

杉並区立中央図書館

## ヤングアダルト（YA）向けパスファインダー 仕事・職業について調べる



「進路を考えろ」なんて言われても、したいことがわからないし、  
どんな道を選ぶのかもわからない……なんて悩んでいませんか？  
そんなときは、働くってどんなことか、世の中にはどんな「仕事」  
や「職業」があるのか、図書館でヒントを探してみましよう。

★分類番号の横に「児」とあるのは <児童資料>、  
無表記は <一般資料> を示しています。

★各資料の詳細は、蔵書検索システム（OPAC）でご確認ください。  
(所蔵館によって、出版年や分類番号が異なる場合があります)

## はじめに

- 本で調べたことをまとめるときは、どれが自分の考えで、どれが他の人の考えかがわかるように、使った本の名前やその本を書いた人の名前を、「参考にした本」として書いておくようにしましょう。
- 資格の取り方などは、制度の改定などにより変更になる場合があります。資料を調べるときは、それが何年に書かれた本なのかを確認し、最新の情報がどうか、その資格を認定している機関などに問い合わせてみましょう。

### ① まずはこの本棚をチェック！

図書館の本は、本の主題を示す**分類番号**に沿って並べられています。今回は、次のようなキーワードに関わる分類の本棚に行ってみましょう。

#### ★今回のキーワード★

仕事、職業、働くということ、社会

#### ★キーワードに関わる本の分類番号★

360番台 …… 社会（仕事・労働）

366番台 …… 労働経済・労働問題

★杉並区立図書館で採用している分類やラベルのルールについて、さらに詳しく知りたいときには、図書館ホームページ（トップ>パスファインダー）の「パスファインダー 基礎編その1」のページをご覧ください。

★目的の本が見つからないときは、図書館のスタッフにお声がけください。

## ② 蔵書検索システム（OPAC）で調べてみよう

図書館の本は、蔵書検索システム（OPAC）を使って調べられます。  
OPACは、図書館内の端末機か、図書館ホームページから利用できます。

### <図書館内の端末機から検索するとき>

### <図書館ホームページから検索するとき>

★OPAC の詳しい使いかたを知りたいときは、画面右上の「？」マークのところに  
あるヘルプページ、または、図書館ホームページ（トップ>パスファインダー）の  
「パスファインダー 基礎編その1」のページをご覧ください。

### ③ 仕事・職業について知る前に、立ち止まって考えよう

仕事や職業について調べる前に、少し寄り道。まずは「働く」ことに対する先入観を解きほぐす、こんな本はいかがでしょう。

#### 『「働きたくない」というあなたへ』

山田ズーニー／著、河出書房新社／発行、2010年（366ヤ）

「ほぼ日刊イトイ新聞」の連載「オトナの小論文教室」から生まれた著作。フリーランスの編集者である著者が、「働きたくない」という若者たちの気持ちに率直に応えられる言葉を探し、投げかける。

#### 『増補改訂 14歳からの仕事道』

玄田有史／著、イースト・プレス／発行、2011年（児360ケ）

「やりたいことなんてない」なんて当たり前。実は大人も、ずっと迷いつづけている。そのことを正直に認め、「それでも、仕事ってものには醍醐味がある」ということを、大人の立場から真摯に示した一冊。

#### 『これを知らずに働けますか 学生と考える、労働問題ソボクな疑問30』

竹信三恵子／著、筑摩書房／発行、2017年（336夕）

給料は誰が決める？ 公務員になれば安心？ 基本だけど今さら人に聞きにくいそんな疑問を、一つ一つわかりやすく解説する。自分の身を守るためにぜひ知っておきたい、「労働」に関するルールが満載。




#### 『15歳から、社長になれる。 ぼくらの時代の起業入門』

家入一真／著、イースト・プレス／発行、2013年（児300イ）

「働く＝どこかの会社に所属する」ではない。「会社では働けない」から起業したという著者が、起業の面白さ、人生の選択肢の豊かさを中学生以上の人に向けて伝える。若手起業家へのインタビューも掲載。

## ④ どんな仕事・職業があるのか知ろう

働くことや大人になることのイメージが何となくわいてきたら（もちろん、まだわいてこなくても大丈夫！）、次に、この社会にどんな仕事があるのか、いろいろ眺めてみましょう。

<p>『10代のための仕事図鑑 未来の入り口に立つ君へ』 大泉書店編集部／編集、大泉書店／発行、2017年 (児360オ)</p>	
<p>10代の人たちに向けて、361種類の仕事の内容となり方、どんな性格の人に合っているか、勤務時間や休日、その仕事の今後の予想などを紹介。イラストも多く見やすいデザインになっている。</p>	
<p>「なるには BOOKS」シリーズ ぺりかん社／発行、刊行中 (366.2ナ)</p>	
<p>パン屋から声優、冒険家まで、多くの職種をカバーすることを目的とした、職業ガイドシリーズ。その仕事の魅力と現実、待遇、必要な資格まで、具体的な情報を幅広く紹介。既刊150冊以上。</p>	

## 「しごと場見学！」シリーズ

ペリかん社／発行、2009～2016年（児360シ）

「病院で働く人たち」「書店・図書館で働く人たち」など、働く場所ごとにさまざまな職種を取り上げ、実際に働いている人たちへのインタビューを豊富に載せている。その業界を体験した気分になれる。



## 「医療・福祉の仕事 見る・知る」シリーズ

WILL こども知育研究所／編著、保育社／発行、刊行中（児360ウ）

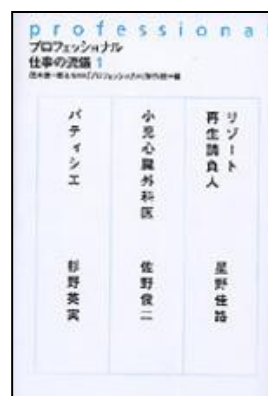
医療・福祉の仕事は、少子高齢化社会の中、ますます切実に求められている。医師、看護師、保育士、介護福祉士などの仕事の1日を、多くの写真で追いかけるシリーズ。なり方や待遇の情報も。



## 「プロフェッショナル 仕事の流儀」シリーズ

茂木健一郎、NHK「プロフェッショナル」制作班／編集、NHK出版／発行、2006～2008年（366.2モ）

NHKの番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」をまとめたシリーズ。著名人から一般企業の社員まで、各界の第一人者の話を、脳科学者の著者がじっくり聞き出す。プロの心意気が伝わってくる。



## ⑤ 自分の目や耳で、実際に見て・聞いてみよう

今の就活では、インターネットが重要な情報源。でも、実際に自分の目で見たり、耳で聞いたりして得られる情報もたくさんあります。

### ● 身近な大人に聞いてみる

あなたの周りにはいる、家族や兄弟、親戚、学校や塾の先生、学校司書、地域の人たちなど、身の周りの大人は、みんな「生きた情報源」です。たとえ今はぜんぜん興味を持ってない仕事でも、「なぜその仕事に就こうと思ったのか」「実際に就いてみてどうだったか」など、いろいろ話を聞くうちに、また別の側面が見えてくるかもしれません。

### ● 新聞の求人欄や、街で配っている求人情報紙を眺めてみる

新聞の求人欄や、街角（駅や書店など）で見かける無料の求人情報誌。「自分にはまだ関係ない」と思って、無視してしまうのはもったいない。自分の住む地域にはどんな仕事があり、どんな条件なのか、手軽に調べられます。実際に就職した人の体験談や、面接対策のコラムなどの記事が載っていることもあります（もちろん、できる人は、実際に何かアルバイトをしてみるのも貴重な経験になるでしょう）。

### ● 学校の進路相談室に行ってみる

学校の進路相談室などで、進学先の学校や企業のパンフレット、卒業生の進路といった情報を調べられることもあります。学校によっては、職場体験やインターンの仲介をしてくれる場合も。進路指導を担当する先生がいるかと思いますので、詳しい話を聞いてみましょう。

## 働きはじめて「おかしいな」と思ったら……

実際にアルバイトなどで働きはじめたら、お給料が約束と違ったり、無理なシフトを組まされたりした……。それは、もしかすると、「ブラックバイト」かもしれません。「おかしいな」と思ったときは我慢せずに、周りの人に相談しましょう。また、次のような手引や窓口も、あなたの味方になってくれます。

### ● 『ブラックバイト対処マニュアル』

(早稲田大学学生部学生生活課／協力、  
早稲田大学出版部／発行、2016年、377.9ワ)  
学生バイトの賃金や労働・休憩時間に関わるトラブル、  
いじめなどの問題への対応方法をまとめたマニュアル。  
ブラックバイト見極めチェックシートもついている。



### ● 総合労働相談コーナー

(<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/chihou/kaiketu/soudan.html>)

都道府県労働局や労働基準監督署内に設置されている窓口で、労働に関するトラブル全般の相談（電話または面談）ができる。性に関する労働問題にも対応。

### ● ブラックバイトユニオン

(<http://blackarbeit-union.com/>)

若者の労働問題改善に取り組む NPO 法人 POSSE を母体とする団体で、学生スタッフが多く参加。弁護士や大学教員が、労働問題の解決をサポートしてくれる。電話・メールで相談を受付。

杉並区立中央図書館  
2012年12月1日発行  
2018年3月1日改訂  
(代表) 03-3391-5754

※本文および掲載画像の無断複製を禁じます。